

# 「市民力で受賞」 一富水地区 青少年育成会

主催:小田原市地域活動推進協議会  
小田原市自治会総連合

小田原市民会館大ホールで1月23日(土)に開催された「地域活動シンポジウム『第6回おだわら地域力市民力表彰』」で、富水地区の青少年育成会が表彰されました。『年1回社会を明るくする運動・中学生との対話集会・狩川清掃・ミニ集会・月2回の街頭パトロール』など、年間を通じた青少年育成への尽力を称えられての受賞です。スクリーンに「ミニ集会」の様子が映し出される中、市長より賞状授受と共に「ありがとうございます。」と感謝の言葉が述べられました。



狩川クリーン作戦



府川悟志会長(左)と立山和也副会長

皆さんに感謝致します!



ミニ集会の様子

## 文化・教育分科会主催

# てづくり AMラジオ!



完成品!



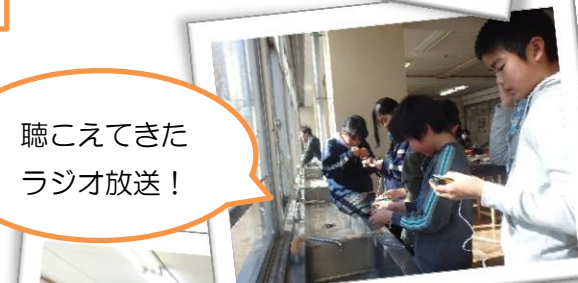
材料・道具



立山分科会長挨拶



聴こえてきたラジオ放送!



1月24日にAMラジオ作りを富水小図画室で実施しました!今年で3回目の取組となります。今回も、地区内各学校にチラシ配布のご協力をいただき、富水小、報徳小、泉中、小田原養護学校から16人の子どもたちが参加しました。中には3回連続参加している子もいました!神奈川県電波適正利用推進員協議会、メリットファイブメンバーズハムクラブの皆さんのご協力のもと、子どもたち自身の手で配線の良く分かるAMラジオを作りました。出来上がったラジオから音声が聞こえてきて、参加者は大喜び!保護者同伴で参加した子どもたちも多く、家族の絆も深まったようです。



もっと知りたい!

# わがまち富水 ⑬

# 富水再発見!

## 清水新田

位置:上清水-富水地区中央  
仙了川沿いに南北に伸びて位置する。下清水-仙了川と狩川の合流地点、狩川右岸及び穴部・府川の間に位置する。  
「清水新田」と云う名の由来:この場所からきれいな清水が湧き出たことからつけられた。

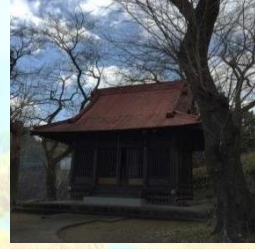


・新田の成立:飯田岡村の有力者であった喜左衛門という人が私財を投じて開墾した新田。「新編相模國風土記稿」に「慶安三年(1650年)村民喜左衛門と云者、河崖の廢地を開墾して新田とす」とある。  
清水新田は仙了川に沿って細長い地帯となっており、この川沿いに開墾された土地であることがわかる。土地が低く、新田開発された後も度々洪水にみまわれた。江戸時代(宝暦中)の洪水の後、鎮守である八幡社はより高い現在の地に移り、その後の洪水(安政初)の折には人々が移り住み、集落を作った。現在の下清水自治会がこの地域である(清水新田自治会は平成8年4月に二分され、上清水自治会、下清水自治会となった)。

## 歴史的遺産 八幡神社

(清水新田4 穴部駅西北約600m)

水道橋を渡り水源地入口の信号から坂を上った右手、高く続く石段と石造りの鳥居が目に入る。一段一段上るとつれ気持ちは研ぎ澄まされるようだ。春には桜の花に包まれる境内からは富水を一望できる。簡素だが趣のあるお社は、かつての地を見守るかのよう静かに佇む。



桜の大樹とともに



笠付庚申塔



境内からの鳥居と眺望

清水新田八幡神社は小字若宮にあったが、江戸時代宝暦年間(1751~64)の洪水後、現在の地に移転した。祭神は八幡神である応神天皇(誉田別命)。境内には笠付庚申塔がある。(「身近にある小田原の史跡」より)

## 水道事件遺跡

(清水新田232 飯田岡駅東南約850m)



昭和8年、小田原町上水道建設を巡って、自噴井戸を枯らすと反対する地元と足柄村や小田原町と対立。飯田岡外6地区58名が逮捕された。大きな事件となった。



## 歴史的遺産



## 稲荷神社 (穴部新田31)



鮮やかな朱の鳥居奥のお社と由緒板

稲荷神社:由緒板に『祭神は倉稲魂命(稲を荷う姿の神)。五穀豊穡と特に安産健康の神』とある。お社の中にはご神体を守るようにいくつもの陶製のお狐様が鎮座している。これまでは見たことのない光景であった。古老によれば、『昔、村内を流れる小川に勾玉が流れ着き、大事にお祀りした。それをお守りしているのが陶器のお狐様であり、かつて奉納されたもの』とのこと。篤い信仰心が感じられる。又、以前はお正月に舞われたという獅子頭も納められている。

(参考:「新編相模國風土記稿」「江戸時代の小田原」「とみず子ども風土記」等)